

令和5年度 教科用図書区民意見結果 (令和6年度～9年度使用・小学校用)

1 区民アンケート件数 196件

2 教科書展示会実施概要

- 板橋区教科書センター
令和5年6月6日(火)～6月29日(木)
- 成増アートギャラリー
令和5年6月6日(火)～6月29日(木)
※6月19日(月)を除く
- 高島平図書館
令和5年6月12日(月)～6月16日(金)

◆ 入場者数 合計 488人

〔会場別内訳〕

| | |
|------------|------|
| 板橋区教科書センター | 228人 |
| 成増アートギャラリー | 209人 |
| 高島平図書館 | 51人 |

令和5年 7月

1

教科（国語 新しい国語 ） 発行者（東京書籍）

内容について

教科書を手に取り読ませていただきました。内容は国語の教科書という感じはあまりしませんでした。作品を読み取る工夫は、あまりなされていないように感じました。

構成・分量について

分量は、多くてお驚きました。一部分を学習されているという事でしょうか。

表記・表現について

表記・表現はヒカクテキ普通に感じました。

使用上の便宜について

先生方が授業で使用されているなら指導用教科書を充実されてると感じました。

御意見・御感想

若い方の教育が変わっている、教育指導についてあまり等を聞かせていません。教育支援法が普及したそうです。教育庁、文科省の方々の教育に対する基本理念、心情、思惑に良心予期させていただきます。

2

教科（国語） 発行者（東京書籍）

内容について

6年生に「プレゼンテーション」があったり、子供たちの今後にあわせた内容にアップデートされておりよいと感じました。

使用上の便宜について

QRコード等からデジタル教材へ推移できるなど GIGA に対応できていて良い。

御意見・御感想

国語に関しては、東京書籍以外では、光村図書でも新しい取りくみが見られましたが内容では東京書籍の方がよいと感じました。

3

教科（こくご） 発行者（東京書籍）

構成・分量について

ちょうどいい

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

箱にいれずらい

4

教科（国語） 発行者（東京書籍）

内容について

興味深い題材を扱って載せていることと思います。

構成・分量について

わかりません。

表記・表現について

意図がわかりにくい。

使用上の便宜について

わかりにくい内容と書き方がされているように思います。もうちょっとわかりやすくズバッと書いてあると良いと思います。

御意見・御感想

わかりにくい教科書... みたいに思います。説明表現も抜けていてわかりにくい、子供に理解が早くできるのかわかりません。配慮が少し足りなく思います。

5

教科（国語） 発行者（東書）

内容について

・国語の様々な領域について（話す、聞く、書く、読む…）がどれも興味深い内容となっている。ずっと変わらない読み物もあってよい。

構成・分量について

必ずつけたい言葉の力が見開きで見やすく書かれてそこから内容に入っていくのがよい。

表記・表現について

文字もハッキリしていてよい。写真もたくさん入っていてわかりやすい。（説明文など）

使用上の便宜について

5・6年生が上下に分かれていないのは、年間を見通すためなんだと思うが、やっぱりあつくて重いのが気になる。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

四年生の表紙（とくに㊦）があまり…見おろすかんじがちょっとこわいように思う。

6

教科（国語） 発行者（教育出版）

構成・分量について

5、6年 教育出版は、上下別なので軽くてよい。（小学生の荷物を軽くしたいので）

表記・表現について

色調があざやかだが、紙が光る素材なので光って読みづらい。文字の大きさを工夫しているのがよい。文字は、教科書体がよい。

7

教科（国語1、2年（上）（下）） 発行者（教育出版）

内容について

年齢に合っている。本からばっすいした場合、その本の題名、表紙の写真がほしい。

構成・分量について

見開きが中央だと開いたとき子供の関心をひくが破りそうと思った。中央びったりの大きさじゃなく、開きやすいようサイズ小さめだといいかも。

御意見・御感想

本の紹介ページを多く使っているので本に接せるきっかけがつかめると思います。

8

教科（国語3～6年 上・下） 発行者（教育出版）

内容について

他の科目につながる作品が多くて良い。

構成・分量について

ちょうどいい量

表記・表現について

見やすく、絵や写真も目を引いた。

御意見・御感想

表紙が可愛らしく、開きたくなる。

※原則、原文そのままに記載しています。

9

教科（ 小学国語 5 年上下 ） 発行者（ 教育出版 ）

他に東京書籍と光村図書も読んでみました。

内容について

多きにわたり、よいと思いました。特に、今は新聞をとっていない家庭も多いので、新聞の構成や読み方を解説してあってよかった。（下）の「まんがの方法」も子供が興味を持って楽しめる解説になっていた。

構成・分量について

他の 2 社は、1 冊にまとめてあったが、上・下と分けてあるところも、手に取りやすく、かばんに入れる重さのことを考えても、良かったと思う。

表記・表現について

ふくろう（博士？）や男の子・女の子のイラストも良く、わかりやすいと思った。

使用上の便宜について

各項目で、4 年生の時の復習がでてくるのも良かった。

御意見・御感想

個人的に一番感動したのは「みすずさがしの旅」でした。著者のように、ここに掲載されている以外の作品をもっと読んでみたくなりました。

10

教科（ 国語 ） 発行者（ 教育出版 ）

使用上の便宜について

本文下のスペースに単語や漢字か書きだしてあるのが見やすいと思った。

11

教科（ 国語 ） 発行者（ 光村図書 ）

内容について

表紙も一番親しみやすく、本の紹介がどの学年にもあるところがとても良かったです。

構成・分量について

作品と話し合うところのくぎりがわかりやすく、作品外のページが少し楽しみに読める工夫が良いと思いました。

表記・表現について

上の学年になるにつれモノクロになりがちな教科書ですが、光村図書は上の学年でもカラフルでした。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

自分の子どもの学校の教科書しかふれる機会がなかったのでとても楽しく色々考えさせられました。教科書もカラフルであると気分が上がるので良いと思いました。

12

教科（国語 1上） 発行者（光村図書）

内容について

昔話が入っていて、とても良いと思う。本の紹介もあり、親も参考になって助かる。

構成・分量について

親目線からしたら多くはないが、限られた授業時間では、やりきれないかな。と思いました。

表記・表現について

人と人で会話の色が分かれていて、子供でも分かりやすい

御意見・御感想

子供が使っている教科書以外の内容を知れて良かったです。昔話がもう少し入れてほしい。全学年で。

13

教科（国語） 発行者（光村図書）

内容について

私自身、光村の教科書を使って学習しており（25～30年ほど前ですが）、とても学びやすく感じていました。現在も物語などについては、低学年は私の時代と同じ作品が載っていたりしたので、安定して質の良い学習ができるのではないかと思います。

構成・分量について

ちょうどいいように感じますが、学校によって進むスピードが異なってきた最後の方の単元が学習できずに終わったりするので、その点が気になります。

表記・表現について

親しみやすいさし絵や、わかりやすい表現が使われており、愛着をもって使うことができると思いました。

使用上の便宜について

学習内容が多いので仕方ないかと思いますが、やはり少し重いように思います。文字の大きさやフォントの使い方などは適切かと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

14

教科（国語） 発行者（光村）

内容について

「問いをもつ」という項目が、児童が主体的に学習に取り組むためによいと思った。また、どの学年でも語彙をふやすためのページがあり、読みとく力の視点からもよいと思った。

構成・分量について

低学年は、物語が十分に構成されていた。系統性がしっかりととれている。

表記・表現について

デジタルコンテンツが充実していてよい。色調等もシンプルでわかりやすい。

使用上の便宜について

目次の他に、領域別に示されていることがよい。

15

教科（国語） 発行者（光村図書）

内容について

巻末の「図をつかって考えよう」「言葉の宝箱」が素晴らしく、これだけでも使わせていただきたいと思いました。

16

教科（国語） 発行者（光村）

内容について

特記事項無し

構成・分量について

特記事項無し

表記・表現について

特記事項無し

使用上の便宜について

教科書に細かく情報が載っているので、授業に参加する際のヒントになる気がする。

17

教科（国語） 発行者（光村）

内容について

子どもに親しみやすいわかりやすい内容

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

ちょうどよい

表記・表現について

適切な表記表現

使用上の便宜について

つかいやすい

御意見・御感想

子どもが主体的にとりくむのにとってもよいと思いました

18

教科（国語） 発行者（光村図書）

内容について

定番の読み物の中にも新しい読み物が加わって、新しさを感じました。表紙や挿絵も素晴らしく、学習意欲をかきたてられます。

表記・表現について

文字が大きくて見やすい。紙が黄味がかっていて、目にやさしい。アイコンなどが大きくて、見やすい。

御意見・御感想

子どもの頃使用していた国語の教科書が光村図書でした。今も定番の読み物を掲載しながら、「くじらぐも」など）現在にあった読み物の取り入れて、新しくなっているように思いました。音読の宿題も子どもと楽しく一緒にできそうです。是非子どもに読ませたい教科書です。

19

教科（国語） 発行者（光村図書）

内容について

他の教科書と比べて内容が深く、濃く、充実していると感じました。冒頭に、学び方が載っているのも良いです。

また、各単元のめあてやポイントが明確なもの良いと思いました。

構成・分量について

構成は、読む、書く、話す、聞くがバランスよく配置されており、分量も適切だと思います。

表記・表現について

表記は見やすいです。表現も、各学年の発達に合わせたものとなっています。

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

使いやすさは他の教科書と同じだと思います。

御意見・御感想

国語といえば光村と言われるほど定評のある光村図書の教科書ですが、やはり「学校で」国語力を付ける工夫が散りばめられていると感じました。国語の教科書ではありますが「生活」や「理科」、「外国語」など他教科と有機的な関わりをもって学べるようになっており、また、クラスでの授業展開の道筋も明確になるような作りになっています。さらに、欧米の文章構成の基本であるパラグラフ・ライティングも意識されているのは光村図書だけではないかと感じます。板橋区は国語力が低く、新井紀子先生のご協力の下で国語力の向上に取り組んでいるのですが、光村の教科書を用いることでより一層の効果が期待できるのではないのでしょうか。

20

教科（国語） 発行者（全3社）

内容について

どれも良くできています。

構成・分量について

どれも良くできています。

表記・表現について

どれも良くできています。

御意見・御感想

来年度がたのしみです。

21

教科（国語） 発行者（光村図書、東京書籍、教育出版）

御意見・御感想

1年生のこくごの内容を見させていただきました。それぞれが特徴があって、良かったと思います

22

教科（国語）

内容について

物語など、前のものと変わっていた。子どもたちが、読みやすいものになっていて良いと思う

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

良い

表記・表現について

良い

使用上の便宜について

良い

御意見・御感想

QRコードが入っていることで、クロームを使用するようになると思うが、どのような時に使用するか考えていかなければいけない

23

教科（国語）**表記・表現について**

カラーで絵が多くわかりやすい

24

教科（国語）**構成・分量について**

東書の低学年多い

25

教科（国語）**御意見・御感想**

会社の決定のプロセスが不透明。どういう基準で選んだのか。その教科書会社にどんな意見が出たのかを知らせないでただ「会社が決定しました」では、納得がいかない。多くの教員に意見を書かせている以上、審査過程を明確にしてほしい。

26

教科（国語）

光村図書には、子ども達に読ませたい作品が多く採用されている。例えば、「考えるとは」3人の筆者の論を読み比べるのはむずかしいかもしれないが、6年生後半の年齢を考えると、是非読んで考えさせたい内容を持っている。困難ではあっても読んで、考えさせたい。文学にもよいものが多い。5年「銀色の裏地」6年「帰り道」思春期に入り、自己と向き合う時期に入っている子ども達に読んで、話し合わせたい。5年の作品は女の子の心の揺れを、6年では男の子の心の揺れを書いている。自分やその周辺の人々と重ねて読ませたい。5年「たずねびと」も、今の子どもの視点から原爆・戦争を考えさせる。今だからこそ、読ませた

※原則、原文そのままに記載しています。

い作品。4年下巻「スワンレイク」も読ませたい。障がいのある人のこと、外国の人のことなど、考えて話し合う題材が多い。

戦争・平和に題材を取った文学作品が3年4年5年と取り扱っている。今だからこそ、考え合い、話し合いたい題材である。作品も定評のあるものである。

説明文も自然保護の大切さを考えさせるもの、作文でデジタル機器に関する考えまとめさせるものなど、今を生きる子ども達にとって学び、考えねばならないものが多く取り上げられている。

入門期の助詞（は、を、へ）の扱いがよい。凸凹を使って「くっつき」というのを視覚的にわからせようとしている。編集者の工夫が子どもにとってわかりやすいものを作っている。

27

教科（国語）

御意見・御感想

東書（現在息子が使用）光村 見比べ

用紙：東書の方がひらきやすい感じがしました。

見え方：光村の方が読みやすい？文字の送りと絵のバランスが良い気がしました。

イメージで東書より光村が良いと思っていたので、実際にさわってみたら東書の良さもわかりました。息子は光村がよいと言っていました。

28

教科（書写） 発行者（光村図書）

内容について

- ・基礎的な知識・技能が確実に習得できると考える。
- ・課題解決（思考力、判断力、表現力、その他）の力が身に付く内容である。
- ・主体的に学習に取り組めるような内容（イラスト、写真等）になっている。

構成・分量について

- ・単元、教材の配列、系統性、発展性が適切である。
- ・発展的な内容も取り入れているのでよい。

表記・表現について

・資料が精選されて、教材の特質に応じた絵、図、グラフ、写真等が分かりやすく親しみやすい表現になっている。

使用上の便宜について

- ・全体の構成が見通すことができ、サイズ、量も適切である。

御意見・御感想

- ・ぜひ、次の書写の教科書は光村図書にしていきたいと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

29

教科（社会・6年生） 発行者（東京書籍）

内容について

偏りのない内容で安心できる。教科書の厚さが多少増えてもいいので、もう少し図、写真が大きく、量もあると視覚的にも理解しやすいのではないかと思う。

構成・分量について

政治・国際・歴史、バランスが取れた内容で良いと思う。特に歴史は、近・現代もしっかりした内容でわかりやすいと感じた。

表記・表現について

特に問題はないと思う。

御意見・御感想

全体的にバランスの良い教科書だと感じた。説明文も読みやすく、わかりやすく、頭に入りやすいというのが1番の感想である。父母の目線で見ても、社会の教科書はこちらを使用していただきたいと思う。

30

教科（社会：政治国際編） 発行者（東京書籍）

わたしたちの生活と政治

（1）憲法学習の途中にいきなり「社会科の学習の進め方」という見開き2ページが挿入されていて、学習が中断する。子どもは混乱するだろう。学習に集中させたいと思うのだが。不適切な挿入である。

（2）原子爆弾の記述。どこの国が落としたのか不明な記述。はっきりと書くべきだ。子どもはどこの国が落としたのか知らずに学ぶことになる。

（3）原子爆弾の記述中に「日本は、世界でたった一つの被爆国云々」とあるが、「戦争被爆国」と記述してほしかった。

（4）自衛隊に関する記述が一方的だ。本当に「日本の平和と安全を守る」のか。子ども達に真実を教えることにはならないと思うが。

（4）東日本大震災の記述にふろくのようにしている「原子力発電所事故からの復興」の項。今、問題になっている、汚染水を海に流す話、汚染土の処理問題が述べられていないのはきわめて残念だ。現在（2023年）の問題として述べるべきだろう。

①「中国」「ブラジル」を学習する場合「過去に、どのような関わりがあったのか」の視点が必要だろう。中国に関して歴史学習で学ぶからこそ、現在と関連させて、学習させねばならない。ブラジルに関しても「日本からの移民」の問題は欠かせない。限られた時間数の中で、より本質に迫る学習が、真の国際交流となるはずだ。

②海外からの技能実習生の学習で、よいことのみを書いているが、それでよいのだろうか。

※原則、原文そのままに記載しています。

③ペシャワールの会の扱いがもう少し多くあった方が、子どもはわかりやすいと思う。

〈全体〉キャラクターとしての「子ども」の発言が、子ども（児童）達の思考を先取りしている。これでは、自分で考える力がつかない。ていねい過ぎるのは子ども（児童）の成長のさまたげになる。教師も自分から教材研究をしなくてもよいような教科書づくりとなっているのは問題だ。

3 1

教科（社会） 発行者（東京書籍）

構成・分量について

- ・ 5年生が（上）（下）にわかれていた。
- ・ 6年生が政治・国際と歴史に分かれていた。

実施時期、ないようで使い分けられる

御意見・御感想

つかむ→調べる→まとめる→いかすと学習過程が明確になっていて、使いやすいと感じた。

3 2

教科（社会） 発行者（東京書籍）

内容について

すばらしい

構成・分量について

十分

表記・表現について

ガイド役の子がときわ台のお屋しき街にしかないさそう。

下町の子はお呼びじゃないというメッセージと強く感じる。（無意識なんだろうが）

使用上の便宜について

上下巻やノート、ワークは子どもがなくすのと、かさばるのとでやめてほしい。タブレット使用を前提にスリムかシンプルな教科書をもたせたい。自分もよく失くしたので、ネットで簡単に買えるようにしてくれればそれでもよいが。

御意見・御感想

一社一教科のみにすればいいと思う。あとは逆張りしている会社とか（右系のぞく）。学校ごとに選ばせてほしい。

※原則、原文そのままに記載しています。

33

教科（社会） 発行者（東京書籍）

内容について

主体的に学習に取り組むことができる内容となっている

構成・分量について

5・6年が2冊にわかれていて分かりやすい

表記・表現について

写真が多い、カラフルな印刷で分かりやすい

使用上の便宜について

学習の進め方が統一されている

34

教科（社会） 発行者（東書）

内容について

基礎、基本的な知識や技能が落ちなく書かれている。

児童の思考の流れに沿って、導入からまとめまで計画されている。

構成・分量について

- ・教材の配列が適切である。
- ・分量も適切である。

表記・表現について

- ・発達段階に応じた表記・表現である。

使用上の便宜について

- ・教科書に調べるためのちらし等があり、準備の負担が軽減される。

御意見・御感想

・社会科の実践を行う上で、教員の負担を軽減した上で、単元を通して、見通しをもって実践が行いやすいと考える。

35

教科（社会） 発行者（東書）

内容について

- ・地図記号や縮尺といった知識、技能をおさえるページが適切な分量で掲載されている

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

・各領域の分量が適切に調整されている

表記・表現について

イラストや写真がバランスよく表記されている

使用上の便宜について

冒頭のページに全体の構成が見返せるもくじがあるつくりとなっている。

36

教科（社会） 発行者（東書）

内容について

どの会社も適切である。

構成・分量について

写真、文字数ともに適度。

表記・表現について

色あい見やすくてよい。

使用上の便宜について

特になし。

御意見・御感想

それぞれの会社ごとにちがいがあってどれも工夫されている

37

教科（社会） 発行者（東京書籍）

構成・分量について

歴史編と政治・国際編に分けていることでそれぞれを充実させることができている

表記・表現について

表と図によって認識が深まるが、取っつきやすい（親しみやすい）表現の表や図が多いことが良い。

御意見・御感想

全体に考えるポイントをつかみやすい構成になっている

※原則、原文そのままに記載しています。

38

教科（ 6年新しい社会 歴史編） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

戦争の記述のところで、ギセイになった広島・長崎など、対馬丸のギセイ者で子どもたちのことも書かれているが、新しい憲法が、平和の大切さを述べているところが少ない。

表記・表現について

強く平和を希求する文章がない。又、国民の日常の努力によってこそ戦争しない国は存続することが記述がない。

御意見・御感想

平和な日本を守っていくことが、大切と述べてほしい。戦争によるギセイが今は原発など現実になろうと 攻撃されるキケンなど考えられる。

日本のみならず世界をも破かいしてしまう状態であることを、知らせてほしい。

39

教科（ 社会科 ） 発行者（ 東書 ）

内容について

（歴史P133）

「…太平洋戦争になりました」←戦争は自然災害ではなく引き起こした責任が誰（どこの国）にあるかは明示すべき。

構成・分量について

教科書は参考書ではないので、授業の誘導ページ（調べる、まとめる、学習問題など）は設けるべきではなく専門職としての教師の創意と裁料に委ねるべき。現代史の記述が少なすぎる。現代社会を理解できる十分な構成が必要では。

使用上の便宜について

QRコードが多すぎて、子どもの自由な調査・探究を誘導的に案内してしまい、教科書の役割を逸脱していると思われる。

御意見・御感想

「まとめる」「いかす」などのページは教科書としては不要で、教師と子どもの自由な学習活動にまかせるべきで、こうしたページを本文の充実した正確性の高い記述にまわすことを望みます。他国の教科書は小学生用といえども もっと知的に高度です。教育委員会としても意見を上げてください。

※原則、原文そのままに記載しています。

40

教科（社会） 発行者（東京書籍）

構成・分量について

災害についての内容や、憲法などの政治のページが少なく感じた。

御意見・御感想

「基本的人権の尊重」は、災害復興や社会問題と絡めて、協調して載せてほしいです。教育出版や日本文教出版の方が、強調して載っていたように思いました。

41

教科（社会） 発行者（東京書籍）

内容について

歴史編と政治国際編が分かれているのが良い。まとまりや流れがわかりやすいので。

御意見・御感想

キャラクターが親しみやすく、興味をひきやすい。

42

教科（社会 6年） 発行者（教育出版）

内容について

共に生きる暮らしと政治、オリンピックパラリンピックから社会を考えるとされています。良いことばかり書かれていて、オリパラをめぐる数々の事件、問題点は一言も触れられていない。大規模化し、本来のあり方と変わり、問題があるという記述が必要だと考える。

QRコードから はじめての防衛白書 にとぶことは問題だと思います。自衛隊は災害救助だけではなく本質は軍事訓練をする「軍隊」です。憲法に反しているという意見もある中で、一方的に、自衛隊を肯定する扱いです。このような教科書を使用してほしくありません。札幌雪まつりや災害救助の「自衛隊」を紹介し QRコードでは、軍事組織としての「自衛隊」が出てくるのには驚きます。

御意見・御感想

社会に多くの意見があることを伝えて子どもたちが考える教科書を望みます。

43

教科（社会） 発行者（教育出版）

内容について

学習の手引き（学び方）や系統性がよくわかり、教師にも児童にもよい。

構成・分量について

適度な文章量でキーワードを使ってまとめやすい。

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

イラスト、図、表、写真が大きくてみやすい。カラー刷りにしたページが増えたことで、より子どもの目をひいてよい。

4 4

教科（社会） 発行者（教育出版）

内容について

グラフや地図、インタビューなど資料の読み取りが豊富だった。

構成・分量について

政治単位から歴史単位へのつながりがスムーズ

表記・表現について

絵やグラフが大きくて見やすい

4 5

教科（社会） 発行者（教出）

内容について

良い

構成・分量について

良い（豊富）

表記・表現について

見やすい

使用上の便宜について

使いやすい

4 6

教科（社会） 発行者（教出）

内容について

（歴史P207）

「日本軍と中国軍が衝突し、これをきっかけに日中戦争・・・」
→小学生とはいえ、「どっちのどのような原因によるか」は史実を明らかにしなければ歴史を学ぶ意義がない。各国の子どものくらしを具体的に紹介しているページはよい。

表記・表現について

東書とちがい、満州事変の記述（P206）は因果関係の記述があり、歴史性がある。

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

各社共通だが、「つかむ、調べる、まとめる」というページは教師の授業づくりの創意や展開を阻害し、教科書には不要であることを教育委員会としても認識し、意見提出してほしい。6年生といえども、自国の戦争責任と平和への希求はしっかり理解できる記述がほしい。特にP216の沖縄戦をめぐる記述はあまりに簡略で、「なぜ」こうした惨劇に至ったかまったく理解できない。教科書の役割を自覚した記述を望む。

47

教科（社会） 発行者（教育出版）

御意見・御感想

こんにちは。私たちの地元が教科書と取り上げられていると聞いておうかがいしました。教育出版3年生の“けいさつの仕事”あたりに見慣れた場所や自治会の取り組みがのっていてとても嬉しく思いました。

特に“子ども見守り隊”や自治会の方のお話がかかれていたここには子どもたちへの地域への愛着が高まると思います。教育出版さんが取材をしてくれて感謝です。

48

教科（社会） 発行者（日本文教出版）

内容について

全てSDGsの枠組にはまって進められていることにとても異和感がある。SDGsにはめる理由はなんなのか？学びに枠をつくらないでほしい

構成・分量について

教師の力量がはかられるので、教師の質により子ども達の能力に大きく影響すると思う。自由な思考や考察ができるよう、答えを誘導することはしてほしくない。

御意見・御感想

- ・日本人としての独自のアイデンティティーが育まれるような教科書を選んでほしい。
- ・全て世界基準（特に西側からのかたよった視点）となっている。日本独自の考察の入ったもの、国防意識と愛国心を育む子ども達が多く育つことが大切かと
- ・日本人としての誇りをもてるような内容の教科書は他にもあると思う。

49

教科（社会） 発行者（日本文教）

内容について

歴史の記述が反日的にかたよっている

御意見・御感想

きちんと歴史をみすえた教科書を採択して下さい。

※原則、原文そのままに記載しています。

50

教科（社会） 発行者（日本文教出版）

表記・表現について

満州事変～中国との戦争について、一方的に日本が悪い、侵略したかのように表現されており、真実を伝えていません。太平洋戦争も、一方面から見た解しやくしか伝えておらず、間違った歴史観を教えています。

御意見・御感想

こちらの出版社の歴史は真実を伝えておらず、片よった内容となっております。子供たちに教えるには、極めて不適切であると感じましたので、改善を求めます。

51

教科（社会科） 発行者（文教）

内容について

（歴史P208）

「・・・住民の中には集団自決」した人も多数いました。

→日本軍の関与にふれず、なぜ住民がこうした行為に追いこまれたか不明。歴史の教訓が得られない。

表記・表現について

子どもの声の吹出しで教科書本文を記述するのは幼稚で史実への誘導的見解も含み、問題が多い。不適。全体に知的でなく、子どもへの敬意が感じられない。

使用上の便宜について

各ページにある「目標シールをはろう」のコーナーは学問的でなく、商業的であり、教科書にふさわしくない。

御意見・御感想

6年生の教科書にもかかわらず、構成、記述、表現が低学年なみの幼稚さで、歴史を学ぶという知的好奇心をよびさまさず、バカにされている印象を与える。

52

教科（社会科） 発行者（教出 日文 東書）

内容について

どの教科書も、学び方が分かるように工夫されている。写真や資料が多く見やすい。

構成・分量について

全体に盛りだくさんな感じ。分冊になっていると軽くてよいように思った。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

どの教科書も工夫して、丁寧に作られており、差異を確かめることが逆に難しいと思った。

53

教科（社会・6年生） 発行者（A東京書籍 B教育出版）

教員ではないため、表記項目ごとの記載は難しいので全体的な意見・感想として記します。

A 政治・国際編と歴史編に分かれていることで、前者がそれなりに充実していると思った。政治と身近な話し合いからの導入は、これからの若者に「政治」を身近なものに感じてもらうためにも必要と感じる。人権については、近年新聞などでとりあげられている「〇〇差別～」などをもう少し記載してあるとよかった。

歴史編 戦争の拡大、終結の遅れなどは、小6に対してはこのような書き方になるかと思うが、沖縄での集団自決や「軍は国は守るが、国民は守らない」の実態に少しでもふれてあれば「戦争」を避ける思いがより強まるのではないかと思う。

B 導入の「ともに生きる暮らしと政治」は、タイトルに異存はないが、オリンピック、パラリンピックが具体例としてだされていることには賛成できない。実施時期（東京）においても、今も、商業五輪のあり方が問題にされている。参加の是非をめぐっても政治の支配を感じざるえないもので「共に」とはいえない。戦争中の子どもの姿も、一生懸命、兵隊さんを応援し、戦争に協力する姿が描かれ、「戦争」への批判的視点が少ないと感じる。沖縄・広島・長崎についての記載も少なく、8月15日まで引きのばしたことで、多くの人命が奪われたことへの訴えが乏しく、今、「生命」「平和」を真剣に考えてほしい子どもたちにわたすのはいい教科書です。

54

教科（社会（6年生））

御意見・御感想

歴史の教科書を拝見致しました。どの教科書も写真やイラストがとてもきれいで“わくわく”しました。子どもの頃、6年の歴史を学んで、歴史好きになったので、今の子どもたちが、こんな素敵な教科書で学べるのが、うらやましいです。明治以降は古い写真を使っているせいか、どの教科書もモノクロ写真が多く感じましたが、教育出版だけが、カラー写真が多いように感じました。技術の進歩ってすごいですね。企業努力に感謝です。これからもより良い教科書を提供してほしいと思いました。

55

教科（社会科）

内容について

どの出版社も内容が充実していた。よい。

構成・分量について

よい分量だと思う。

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

むずかしい表現もあるが、キーワードとして紹介されているので、問題はないと思う。

使用上の便宜について

欲をいうならどの学年も資料がないとよい。全て使うわけではないが、児童に選択させたい。

56

教科（社会6年）

内容について

- ・教育出版・「憲法改正論議」についてふれているが適当か
- ・日本文教出版・「シビリアンコントロール」にふれているが、総理自身が憲法改正に積極的な今、それが「国民立権」といえるのか。
- ・東書・教科書に書き込みができるスペースが多いが、こういうことは教員側が考えて作るのではないか（ノートのまとめ方やワークシート等）
- ・東書・5、6年の教科書が分冊になっており、使いやすいか（重さの点）

御意見・御感想

- ・QRコードが、どの教科書も使われているが、どのように使うかが今後の課題
教員が授業を進めるうえで、つかいやすいのか。

57

教科（社会）

①全体として憲法“主権が国民にある”という書き方が弱すぎると感じました。目次にさえ憲法の文字がない。条文は掲載すべきと思います。私たちの日常は憲法のもとにあるのですから。

②世界で唯一日本のみ投下された原爆の書き方もないに等しいほど弱い。やはり原爆雲の写真は必須だと思います。平和な未来をつくってゆくのは子どもたちですから。きちんと伝えることの意味を！！

教育出版（6年）歴史の方に憲法がない 自衛隊の考え方に違反していると考える人もいるとしているのは良いと思いますが、その中で上の3つの四角は？「国の平和と安全を武力によって守る」のでは？

日本文教出版

歴史の方の新しい日本へのあゆみのスタートに憲法を入れてほしい

58

教科（社会科・5年）

- ①地球儀の扱いは、日本文教出版はていねいで、わかりやすい。
- ②世界の国々の紹介も日本文教出版は他の2社と比べるとわかりやすい。導入の段階なので、子どもが興味を持ち、わかりやすいのがよい。

※原則、原文そのままに記載しています。

- ③領土問題の記述は教育出版の記述は妥当だろう。
- ④アイヌの人たちやその文化など、日本国内の少数民族のことを扱った教科書は望ましい。
- ⑤学習のまとめとして、東京書籍は「新聞づくり」を例示しているが、まとめの扱いとして問題だろう。新聞という限られたスペースであってもこれも書かせるのでは深まりがない。
- ⑥「もっと知りたい」で森林と海の関係性を扱っているのはよい。(教育出版)
- ⑦「これからの食料生産」で食料の輸入先と輸入量の割合や食料の自給率を大きな図版やグラフで示している日本文教出版の扱いは、子どもに分かりやすい。
- ⑧自動車工場で働く人の勤務体制を提示しているのは、日本文教出版と教育出版。日本文教出版の方が子どもにとってわかりやすい。
- ⑨3社とも、自動車工場と関連工場のつながりを図などで表しているが日本文教出版のものが、わかりやすい。
- ⑩東京書籍と日本文教出版は、「食品工業」に扱っている。子ども達の生活と直接的につながるものだから、この扱いは大事にしたい。
- ⑪「情報活用のルールやマナー」この項を特設しているのは東京書籍。子どもたちにきちんと学ばせ、考えさせたい項だ。

59

教科（地図） 発行者（東書）

内容について

- ・基礎、基本的な知識・技能が落ちなく書かれていた。
- ・地図を通して意欲的に学ぶための工夫がなされている。
- ・学びを充実する上では少しもの足りない部分もある。

構成・分量について

- ・教材の配列が適切である。
- ・地図が詳細さに欠けるところもあり、地図記号等をとらえる上では不十分である。

表記・表現について

- ・文字の大きさがもう少し大きい方が、児童の発達段階を考えると良い。

使用上の便宜について

日本の領土である竹島の表記が日本全体の地図にあり、領土の区分が明確である。

御意見・御感想

領土問題が今後、国際社会の中で大きく取り上げていくことを前提に置くと、竹島等の表記がなされている方が教材として適切であると考えます。

60

教科（小学生の地図帳） 発行者（帝国書院）

内容について

明るい色合いで見やすく、地域や国ごとの名所や産業のイラストが豊富でとても良いと思いました。大人でも見入ってしまうくらいだし、子供が3年生になってこのような地図帳と出会えるなら楽しく学べそうだと感じました。

御意見・御感想

私は専門家でも何でもなく、小学生の子を持つ親なのですが、自分の子供の頃と比べると学びやすい工夫がずいぶんされていると感じ、うれしくなりました。娘と一緒に展示に立ち寄ったのですが、娘も何冊も手に取っては、自分が使っているものとの違いなどを発見したりして、予想以上に長く楽しんでいました。ありがとうございました。

61

教科（算数） 発行者（東書）

内容について

- ・身近な疑問を解決しようとする導入の仕方

構成・分量について

たしかめ問題・補充問題の量が適切

表記・表現について

多くのページに QR コードが印字されている。

62

教科（算数） 発行者（東書）

内容について

めあて、予習課題まとめまでがハッキリ示されている

構成・分量について

児童の力量に合わせて、変えられるほど問題数は多い

表記・表現について

文字の大きさ、まとめ等、みやすく分かりやすい。

使用上の便宜について

大きさ、重さともにちょうどよい

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

東書の教科書は使いやすいと思いました。

63

教科（算数（6年）） 発行者（東京書籍）

内容について

目次では各単元ごとに過去の学習やこれからの学習との関係が記載されている。学習のしあがけの問題番号の横にはチェックボックスがあり繰り返し解いて復習することをうながすくみがある

構成・分量について

単元導入のほとんどをデジタルコンテンツにすることで教科書本体の内容を重要な本題にしぼることに成功している。実際の授業においても話しあいなどアクティブな活動は動画、新期の学習や問題演習は教科書と見るものが変わるため児童の意識も切り替えやすいと考えられる。

表記・表現について

6年生の教科書においては、小学校で習わないが日常生活でよく使う、漢字（枚、針金など）についてふりがな付で記載されていた。適切な対応だと思う。また表や文などで書き込みを要求する空欄の大きさもちょうど良かった。

使用上の便宜について

1 ページに使われている色数が少なく、視覚的刺激が最低限に抑えられている。過敏性や注意力に課題のある児童でも内容の記述に集中しやすくなっている。行間や図と文のすき間などの余白も詰めすぎず適切に空けられており読みやすい。

御意見・御感想

教育の ICT 化が進み、プレゼンテーションや動画教材によって子供達の意識を惹きつける授業構成が容易に実現できるようになった昨今、教科書という紙媒体に求められるのは、情報の一覧性と分かりやすさである。動的コンテンツは重要な情報を表示してもいずれ流れて消えてしまう。授業の最中やその後の復習で改めて教科書の紙面を見た時に重要な情報がどれなのか分かりやすいものが適切であり、今回拝見した小学校算数の教科書の中では東京書籍のものがその点に最もすぐれていた。他の会社では濃い色が多くどこに集中したら良いのか分かりづらいものも多かった。

※原則、原文そのままに記載しています。

64

教科（算数） 発行者（東京書籍）

内容について

プログラミングの扱いが少ない。今回はほとんどの会社が全学年で触れているので残念。知識・技能は十分だが、思考表現判断に関する内容が少なく感じる。

表記・表現について

めあてがわかりにくい。ページ数が上部に表記されているのが見にくい。

65

教科（算数） 発行者（大日本図書）

構成・分量について

以前より厚くなっているようですが、増加したぶんについて教えてください。

御意見・御感想

- ・区内で、ボランティアとして算数を教えています。（日本人、外国人）
テキストは、自分で購入（有償）しなければならない、ボランティア用としてのテキスト提供なども考えて欲しい。
- ・今までは、大日本図書で長く採用してきたと思いますが、来年度よりコンペ（各学校毎に）になるのですか。その理由も教えていただけるとありがたいのですが。

66

教科（算数） 発行者（大日本図書）

内容について

めあて、発見、まとめ等が分かりやすく、さらに、「さらに考えよう」で深い学びにもつながる。基礎・基本から発展まで広く学べる。

構成・分量について

“プラスワン”が大すぎず、調度よい。また、その分、小6だと6年間のまとめがしっかり入っており良い。

表記・表現について

字のサイズ、色などで強弱をしっかりとつけていて分かりやすい。

使用上の便宜について

QRコードで自学の補充もされている。また、この学習がどの学習とつながっていて、次の学年のどの学習につながるのか、目次に明記されており、見通しをもって学習に取り組める。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

教育出版・・・文字からスタートするのは難しいのでは？

東京書籍・・・「めあて」がわかりづらい

67

教科（さんすう1） 発行者（大日本）

内容について

いろいろな見方で行えそうだと思います。

構成・分量について

プログラミングが上の子のときとちがってあるのが興味深かった。

表記・表現について

見やすそうだった

使用上の便宜について

とくになし

御意見・御感想

とくになし

68

教科（算数） 発行者（大日本図書）

使用上の便宜について

2年生のみ見ましたが、上下に分かれていないため毎日の持ち運びで重量がかさむことが懸念される。

69

教科（算数） 発行者（大日本図書）

構成・分量について

1 ページの文字の量が少し多いように感じた。

表記・表現について

カラフルで子どもの目に止まりやすく、良いと感じた。

御意見・御感想

実際の写真等が使われ、子どもにとって身近なことが内容になっている点が良いと感じた。

しかし、前述のとおり、1 ページに文字が多いと感じた為、算数への苦手意識が出てしまうかもしれないと感じた。

※原則、原文そのままに記載しています。

70

教科（算数） 発行者（教育出版）

内容について

勉強するごとに、まんがでまとめるページがあるので、分かりやすい。他の会社は文字が多くて、参考書のように見える

構成・分量について

どこの会社も同じに見える。

表記・表現について

1年の数をかぞえるところで、図が大きくてかぞえやすい。啓林館とかは、小さくてかぞえにくい。6年生とくらべると、文字の量が1番少ないので、負担を感じないと思う。啓林館とかは、ごちゃごちゃしてる。

使用上の便宜について

1年生の変な小冊子がなくてよい。大きさもちょうどよい他の教科書会社は大きすぎて重い。
↳なくすと思う。→大日本図書は、うすくてこわれそう！

御意見・御感想

教科書にQRコードがついていて驚いた。子供は使いこなせるのかな。授業でどんな風に使われているのか、まったく想像ができない。友達の子供が小学校に入学するので、算数がついていけるかいちばん心配している。少しでも親しみやすい教科書を選んで下さい。

71

教科（算数） 発行者（教育出版）

内容について

どの会社も算数が楽しく、勉強できそうな感じがします

御意見・御感想

5つの会社があり、この会社だけが1年生が1冊になってました。最初の学年は、忘れたり、なくしたり、しそうで、また、これから1年間勉強する流れが分かる方が良いと思います。1年生は1冊になっている方が子供には良いのかなと思いました。

72

教科（算数） 発行者（教育出版）

内容について

いろいろな登場人物が出てきて、会話方式の説明は逆にわかりにくいです。会話がまぎらわしい部分が多々散見されます。

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

他の教科と比べて、内容が易しすぎる気がします。字が大きすぎて、ボリュームが足りない。

表記・表現について

登場人物の会話や疑問点等が書かれていますが、これだと子供本人の思考力が身につかないと思います。

御意見・御感想

<日本文教出版>の算数は、思考力が身につくような内容になっていて良い教材だと思います。文字の大きさ、全体のバランスも程良いと思います。

73

教科（さんすう） 発行者（きょういくしゅっぱん）

内容について

おもしろかった

構成・分量について

もうすこし、りょうがほしかった

表記・表現について

よくわかりました

御意見・御感想

3才の数字の好きな子と一緒に読みました。子どもはとても楽しんで、教科書をよんで、問題をといていました。上記は、子どもの感想です。

74

教科（算数） 発行者（教育出版）

内容について

4コマまんがが、まとまっていて、わかりやすくてよい。身近なことに算数の知識を生かせそう。

構成・分量について

すごく見やすい！東京書籍と啓林館は、文字が多くて開いたとたんうんざりしたけど、教育出版は、空白部分もあってよい。

表記・表現について

写真や図がたくさんあって、少しでも算数を楽しんでほしいという思いが伝わってきました。

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

めくろうとしたときに、手の中に収まってめくりやすい。東京書籍とか大日本は大きすぎて扱いづらい。あと、1年で小さい本に分かれているのは、子供がなくしたり折ったりするの
でいい。教育出版は小さい本がないのでよい。

御意見・御感想

弟が小学生だが、算数が苦手で教科書が重いと言っている。今使っているものより、教育出版の方がサイズも小さくて読みやすいので、かえてほしいです。弟がかわいそうです。

75

教科（算数） 発行者（教育出版）

内容について

算数はどこの出版社も内容が同様な印象でした。（そういう教科なのかなと思った）

構成・分量について

巻末の学習内容のまとめと、定規やコンパスの使い方の内容がほかにはなく良いと思った。
巻頭の見方、考え方も目に留まった。学習の最後の4コマまんがもわかりやすい。

表記・表現について

1年の表紙からも算数らしさを感じられたのとかわいらしくて楽しそうな印象だった。

使用上の便宜について

1年生の教科書で多くの出版社が2冊にしている中で1冊なのは学習がしやすいように思った。（子どもが喜びそうな表紙だと思った）

御意見・御感想

どの出版社の教科書も算数の内容がもりだくさんで勉強する子どもたちが大変だなと思ってしまったので、紙面の見やすさも大事だなと思いました。イラストも大事だなと思い、キャラの子どもたちが生き生きしている感じも好感がもてました。

76

教科（算数） 発行者（教育出版）

構成・分量について

一年生は一冊にまとめられているので、一年を通してなくさなくていいと思いました。

御意見・御感想

表紙が動くのは面白いと思います。低学年は興味をもって学べそうです。

※原則、原文そのままに記載しています。

77

教科（さんすう） 発行者（教育出版）

内容について

どこの会社も同じ？ふり返ろうのページにあるマンガがわかりやすい。

構成・分量について

どの会社も重そう…。だけど、教育出版は1年が分かれていないので、負担をかんじない気がする。ほかの会社は、なんで分けているんですか？

表記・表現について

学年で文字の大きさがちがうので、考えてつくられていると思った。

使用上の便宜について

1年の小さい冊子のようなものがないから、子供がなくさなくてよいと思った。うすい本は、子供はすぐになくしちゃうと思う。実際、なくしてる。

御意見・御感想

最近板橋区に引越して来たのと、めいの子が小学校に入学予定というので、見に来ました。算数ならわかるかな、と思いました。最近の教科書はカラフルですね。そして重い。算数が得意だったので、なつかしく拝見させていただきました。

78

教科（算数） 発行者（啓林館）

御意見・御感想

今現在、どういう内容になっているのか、少し参考になって良かったです。

79

教科（算数） 発行者（全社）

内容について

どの社も申し分ありません

構成・分量について

社によって、上・下巻の分け方が学年により異なっています。子どもの体格を考慮すると、2年～4年までは、上・下巻に分け、重さを軽減した方がよいと思います。

使用上の便宜について

1年の教科書で薄い導入用？の冊子が用意されているものがあります。（4社）

幼小のつながりと意識したのではと推測しますが、他の教科は、そのような冊子がなく、不要だと思いました。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

表紙に QR コードが貼ってあり、アニメーションで表紙のキャラクターが動く仕掛けの社がありました。(教育出版) 大変面白いと思います。子どもが算数に関心を持ちそうです。

80

教科（算数） 発行者（東京書籍、大日本図書）

御意見・御感想

小学校1年生の本が分冊になっているのは持っていく教科書をまちがいそうで心配です。うすい冊子はホッチキス止めなので指をけがしないよう注意も必要です。

81

教科（算数） 発行者（東京書籍、啓林館）

使用上の便宜について

1年生の本だけ本の大きさがちがっている。教科書を並べて置いておくとときに、折れ曲がったりして不便なような気がした。

御意見・御感想

表紙で動画やアニメが見られる工夫は、算数に興味をもってもらい入り口としてよい工夫だと思う。

閲覧会場では音を出して聞けないのが残念だった。(音を出してもだいじょうぶかもしれなかったのですが、静かな会場だったのでやめておきました。)

82

教科（算数） 発行者（複数社）

構成・分量について

1年生の教科書が別冊になっており、とくに大版のものもあるが、冊数が多くなったり、サイズのちがいがあると、紛失やハソンの可能性が高くなるのではと思います。1年生の親ですが、シンプルな構成が良いと思いました。

83

教科（算数） 発行者（大日本図書、東京書籍、啓林館）

使用上の便宜について

小学校1年生にうすい別冊がついているのが気になりました。入学してすぐなので本をまちがえたり、片方を忘れたりしそうです。うすくて大きい本なので、低学年だと落し曲げたりしてしまいそうです。

御意見・御感想

表紙の QR コードから動画やアニメが見られるなど、算数を勉強したくなるいろいろな工夫があり、算数だけでも6つの教科書がありますが、子どもがどの教科書で勉強していくことになるのか楽しみです。

84

教科（算数）

内容について

どの教科書会社もよい所があり、工夫されています。実際に指導者が使う良さと、子どもたちが予習復習したときの良さがあると思いました。

構成・分量について

問題の量については副読本などが活動できると思いますので、多すぎない方がよいと思います。子どもたちが数学的思考方を身につけられるように、いろいろ活用場面があるとよいと思います。

表記・表現について

字・色彩は見やすい、分かりやすいが一番です。

85

教科（算数）

内容について

グラフ、資料のところが充実している。学習の流れとまとめ、振り返りが一致している会社に限られている。

構成・分量について

適切である。問題や例題、応用問題が上手く配列されていない。

表記・表現について

学習のまとめを行う欄が弱いし少ない

使用上の便宜について

教科書活用と書き込みもでき、デジタル対応の会社を採択したい。

御意見・御感想

適切な表現でバランスがとれた内容の教科用図書の採択を要望する。効果的で読み解く力を養える会社を採択して頂きたい。

※原則、原文そのままに記載しています。

86

教科（算数）

内容について

数値 東書→他社よりも易しい 教出→他者よりも難しめ

構成・分量について

上下巻に分かれているのが良い。タブレットもあり、重い。

87

教科（算数）

内容について

啓林や東京書籍はイラストが多く、子供が楽しめそう。

構成・分量について

小1のかずのたしざん、ひきざんの後に時計の読み方が来る（日文・学図）方が子供の理解度が高くなるように思われます。

表記・表現について

QRコードが何の動画やサイトなのか表記している啓林館は丁寧に思われます。

使用上の便宜について

教科書は重いので算数は学校に置いてくる事も多いので、解説 URL が保護者の目に入る所が良いなと思いました。

御意見・御感想

ドリルやプリントしか自宅で目にしないので、こうして全社の教科書が見られて興味深かったです。

88

教科（算数）

構成・分量について

各教科書とも分量、盛り沢山の印象を受けました。

使用上の便宜について

1年に書き込みができる別冊付き教科書が何点かありました。1年生には、教科書に直接書き込むための別冊は余分だと思いました。

※原則、原文そのままに記載しています。

89

教科（算数）

御意見・御感想

分数×分数や分数÷分数の問題を子どもたちにとって身近な題材にしてほしい。「△／○Lで×／□m²塗る」のような問いは想像しづらい。やらされている感がある。

90

教科（算数）

構成・分量について

「もっとジャンプ」はいいなあと思いました。

表記・表現について

図や数直線が見やすいものがよいです。

御意見・御感想

見比べてみることは大切だと思いました。子どもにも教える側にも良いものとなると。様々な子が使うので、それに対応した使い方ができるものが良いと思います。

91

教科（算数）

御意見・御感想

大日本図書、日本文教出版、東京書籍、啓林館の1年の教科書に別冊で書き込みができるノートが付属している。小学校では学習習慣身に付けることは、たいせつで、教科書と自分のノートは机に用意して授業に臨みたいものとする。書き込み式のノートのような別冊教科書は全く必要なし。他の教科でも見られるが、教科書に書き込みができるようになっているのはいかがなものか。教科書は、書籍であってノートではない。甚だしいのが算数1年の別冊教科書だ。

92

教科（理科） 発行者（東京書籍）

内容について

写真・イラストなどが豊富でわかりやすい。興味を引くような表現で良い。

構成・分量について

適当である。学年が3年～6年と同じ分野でも少しずつ新しい考えを加えたりしており、中学・高校へとつなげていく構成となっている。

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

写真・イラストに対して、文章が少なく、文字の持つ表現力がいま1つないように感じるが、科学の用語は漢字が中心なので、小学生向けにはむづかしい。十分な表記・表現であるとは思いますが。

使用上の便宜について

なるべく実物を見せて授業をしてもらいたい。あるいは、その分野の体験を語ってもらいたいのだが、実物に接する機会や、教える側の生活体験にも、特に都市部（現在？）では貧しいものがある。（個人差もあるが）

93

教科（理科） 発行者（大日本）

内容について

分かりづらい

94

教科（理科） 発行者（学校図書）

内容について

SDGsの開発目標が目次に併記されており、学習内容と関連付けることができる。

構成・分量について

4～6年生のビーカーを使用する実験の時期が重なっており、用具の準備がしづらい可能性がある。

表記・表現について

見出し等 青を基調としたページが落ち着いた感じで見やすい。

使用上の便宜について

ノートよりやや大きいサイズで扱いやすい。

95

教科（理科） 発行者（教育図書）

構成・分量について

1冊1冊が印刷がきれいで大きいので良いと思いますが子どもは毎日時間割でランドセルに入れて行くのでしょうか。とても重いのでは・・・と思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

QR コードは必要なのでしょうか？

親も子どもも安心して安全で がいいです。今本当に世界が戦争で不安になります。世界中が平和が続くようがいいです。

多分私は、数年後にはこの世の中にいないと思いますがいつまでも平和で安心した生活できる世の中であって欲しいと思います。

9 6

教科（理科） 発行者（教育出版）

内容について

コンパクトにまとめられている。

構成・分量について

中サイズ。大きすぎず、小さすぎない。重量はややある。

表記・表現について

イラストは今どきのタッチ。結論部分が目立って分かりやすい。絵の大きさも大きくて分かりやすい。写真の分量もよい。

使用上の便宜について

大きすぎず、ちょうどいいサイズでまとめられていて使いやすそうだなと思った。

9 7

教科（理科） 発行者（啓林館）

内容について

各実験ごとに、器具の使い方が詳しくのっており、分かりやすかった。

構成・分量について

まとめの後に、次の問題へのつながりがあるのが良い。

表記・表現について

字が大きく、太字などの工夫があつてよい。色味がうすくて見やすい。

使用上の便宜について

マークや、季節などの工夫があり分かりやすかった。

※原則、原文そのままに記載しています。

98

教科（理科） 発行者（全て）

御意見・御感想

発行者によって、大きく違うことが分かった。発展問題の取り扱いや児童にとっての親しみやすさでいうと、東京書籍がよいと思った。

99

教科（理科） 発行者（すべて）

構成・分量について

5年「花と実」については、最近温暖化により、早く花がさいてしまうため、一学期の方がよいと思います。

100

教科（理科） 発行者（全て）

内容について

大日本…QR動画の内容表示があり丁寧
東京書籍…導入のイラスト、マンガが受け入れやすそう

構成・分量について

小6の水溶液の実験は最後だと授業時間数は間にあうのか？

表記・表現について

教育出版…フォントが見にくい

使用上の便宜について

東京書籍、大日本図書の判形は机で使いやすいのか？

101

教科（理科） 発行者（5社）

内容について

ICTやSDGsに関する内容が増加していると思います。教科の内容や実験器具の扱い方の他にこれらも指導するのは先生方に大きな負担ではないでしょうか。

表記・表現について

いずれも写真や図版を使い分け見やすいと思いました。

使用上の便宜について

大日本の判型が大きくなってしまったのが残念です。小さい方が場所をとらず授業中に使いやすいと思うのですが。その分、実験の流れがこまかくなったのは良いと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

どの発行者のものも十分な内容と使いやすさだと思いますので現場の先生方が使いやすいものを採択されると良いかと。

102

教科（理科）

内容について

4年ものの湿度と体積

金属のことについて、鉄道のレールのつなぎめが載っている教科書が複数あった。

〈〈キケン 線路に立ち入ってはいけない〉〉と書かれているものもあるが、そもそも載せなければよい。他の事例を扱えばよい。中には、「どうなるからでしょうか、説明しましょう」などと実際に立ち入りをうながしているようにさえ見える教科書もあった。こんなものが掲載されていたら、好奇心旺盛な子は、よけいに線路に立ち入りたくなるのではないかな？教育委員会には配慮してほしい。

103

教科（理科）

表記・表現について

写真・イラストが多く分かりやすいが、重量がある。

御意見・御感想

低～高 それぞれで字の大きさ等も読みやすく理解しやすいと思う。全体的に大きさ・重さ共に特に低学年にはきびしい。

104

教科（理科）

内容について

全体の流れ

105

教科（生活） 発行者（大日本）

内容について

よい。

構成・分量について

- ・イラストの統一感があってよい。
- ・ページ数が多い。

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

- ・文字が大きくて読みやすい
- ・作り方があるものとなないものがある。

使用上の便宜について

切りとりできる春さがしビンゴが使いやすい。

106

教科（生活） 発行者（光村）

内容について

学習活動例が写真つきでわかりやすい。

構成・分量について

イラスト・写真と文の量が適度である。

表記・表現について

低学年わかりやすい言葉が使われている。

使用上の便宜について

教科書末にふりかえりをするための言葉が書いてあるので活用したい。

御意見・御感想

イラストがとても効果的に使われていました。

107

教科（生活） 発行者（光村図書）

表記・表現について

ヨシタケさんのイラストやコメントが入っていて、子どものすなおな気持ちが伝わりやすい。

108

教科（生活科） 発行者（啓林館）

内容について

他社よりデジタルコンテンツが多くかんじた。

使用上の便宜について

大きさがちいさくてよい

御意見・御感想

他社を比べられて勉強になりました。ありがとうございました。

※原則、原文そのままに記載しています。

109

教科（生活科）

内容について

どの社会も同じような内容だったが、なじみ深い絵本作家さんのイラストが入ったもの（教育出版・光村図書）は目をひいた。

構成・分量について

教育出版は他の会社と比べ活動（思考）させる内容がわかりやすく迷路になっていた。ただやるというより考えながら、読み進めて活動する流れになっていた。

表記・表現について

ほとんどの会社が、写真多めだった。でもあさがおの所で見ると他の植物とくらべられるものやあさがおを大きく色々な見方で表記しているものもあった。

使用上の便宜について

東京書籍・光村図書は持ち運びできる図かんがついていた。光村は雨等でぬれても大丈夫なもので写真なのはよい。東京書籍は、実さいの大きさなので見つけやすいと思う。

110

教科（音楽） 発行者（教出）

内容について

選曲がよい。子どもが興味がそそられるものが多い。

構成・分量について

音楽のもとが上部にのっているので意識しやすい。

表記・表現について

色あいが見やすい

使用上の便宜について

適ぎ、楽譜やスコアがのっていて、使いやすい。

111

教科（音楽） 発行者（教育出版）

内容について

目新しい子どもの興味関心をひくものが多い

構成・分量について

十分

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

(色) あざやかで、わかりやすく、表記されている

使用上の便宜について

見開きページは資料としては良いが、児童の扱いとしては(最近の児童の様子を見ていると)難しいと思われる

1 1 2

教科 (音楽) 発行者 (教育出版)

内容について

児童が興味のもてるような教材が多い。教材がわかりやすい。

構成・分量について

分かりやすい系統的に構成されている。

表記・表現について

文字と写真のバランスが良く、見やすい。

使用上の便宜について

色調や字の大きさも分かりやすい。

1 1 3

教科 (音楽) 発行者 (教育芸術社)

内容について

- ・創作が増え、思考・判断・表現に力が入ったように感じた

構成・分量について

- ・今まで多いなと感じていたところが減っていてちょうど良いと思えた

表記・表現について

- ・創作の難易度がやや上がっていた

使用上の便宜について

- ・教師にとってありがたいが、子どもにとって必要な図なのか・・・と感じるものがいくつかあった。
- ・字体が慣れず、少し落ち着かない
- ・前の写真の方が良かったと思うところがたくさん・・・(なぜイラストになったのか....)

※原則、原文そのままに記載しています。

114

教科（ 図画工作 ） 発行者（ 開隆堂 ）

内容について

自分がつかってみた。

構成・分量について

ちょうどよかった。

表記・表現について

見やすく、おもしろそうだった。

使用上の便宜について

つかいやすかった。

御意見・御感想

つくってみたいものがたくさんありました。つかえたらいいなと思いました。

115

教科（ 図画工作 ） 発行者（ 開隆堂 ）

教科（ 生活 ） 発行者（ 光村図書 ）

内容について

（図工） 3・4年のスーパーランドセルが楽しそうでやってみたい。

（生活） 保育園でもよく読んだヨシタケシンスケの絵がたくさん載っている
光村図書はワクワクする。遊んでみたい。

御意見・御感想

現役の小学生の意見です。父親の代筆です。低学年の「遊び」は「学び」に近いと思います。

116

教科（ 図工 ） 発行者（ 日本文教 ）

内容について

題材に単純性のないものがある。難しく感じた。

構成・分量について

3・4上と下で発行者により逆になっている。

御意見・御感想

今までと同じ教科書が良い。タブレットが入ってきていますが・・・。

※原則、原文そのままに記載しています。

117

教科（ 図工 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

内容について

見やすいデザインでよかったです。にているけど開隆堂の方は見にくかったです。

御意見・御感想

「わざのひきだし」のコーナーがいいなと思いました

118

教科（ 図画工作科 ）

内容について

よい

構成・分量について

よい

表記・表現について

よい

使用上の便宜について

よい

御意見・御感想

日本文教出版さん、5・6下巻には焼き物の題材が示されており、とても高学年らしい内容であると考えさせられました。区内小学校にでかまがあると思いますが、メンテナンス、また、電気がまの導入をしていただけたらと思います。本日はありがとうございました。

119

教科（ 家庭 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

5，6年生でこれだけの内容を理解、実践できれば自律した生活ができると思いました。消化不良にならないといいです。

構成・分量について

限られた時間の中で学習するには分量が多い気がします。詰め込みにならないか心配です。

表記・表現について

P2のひなたさん、りんさん…等さんづけの表記は配慮が感じとれます。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

著作権関係者に小学校教諭が少ないのが気になります。小学生の実態をよく知っている現場の教諭が子どもたちにどのような力をつけさせたいのか現状をふまえての教科書づくりが大切だと思います。

120

教科（家庭科） 発行者（東書）

内容について

わくわくして、先を見通せる内容になっている

構成・分量について

よい。開隆堂は少し、難しいように感じた。

表記・表現について

行間よい。パッとみて見やすい。

使用上の便宜について

めくりやすい。（ページの厚さもよい）

121

教科（家庭） 発行者（東京書籍）

内容について

- ・基礎的な知識及び技能が確実に習得できる内容である。

構成・分量について

- ・分量は適切である。
- ・発展的な内容の分量も適切である。

表記・表現について

- ・資料は写真や図をもちいて見やすく配慮されている。
- ・QRコードから見る動画は、裁縫単元で左きき、右ききそれぞれの動画があるなど、どの子にも配慮されている。

使用上の便宜について

- ・現行の教科書と大きさは変わらないが、軽くなっている印象がある。

御意見・御感想

- ・全体的に、字のフォントや大きさなども整理されていて、読みやすいと感じた。光がページに当たっても反射しない印刷の配慮を感じた。

※原則、原文そのままに記載しています。

1 2 2

教科（家庭科） 発行者（東京書籍）

内容について

資料が多く＋αの知識が富にあって良い。めあてやふりかえりなど、授業の流れが分かりやすく使いやすい。特に6年朝食づくり（いためる調理）では、朝食からいためものについての流れが生活に則していてやりやすい。

構成・分量について

5年と6年のバランスが良い。年間の総時数も5年60時間6年55時間と5時間とか差はないので、同じくらいの分量になっていて良い。

表記・表現について

写真やイラストが多く分かりやすい。動画資料も多くて良い。題名が日本語ベースでやることとイメージがしやすい。

使用上の便宜について

高学年の他の教科書（国・算など）に比べると大きいが見やすくはなっている。（文字の大きさなど）小さくできるならその方が良いがその分重くなるならちょうど良い大きさだと思う。

御意見・御感想

東京書籍も開隆堂もどちらも使いやすい見やすさ、分かりやすさはそれぞれにあるが、どちらにしても、指導内容と学年の分量は変わらないようにしてほしい。どちらにしてもこれまでの教材研究がいかされるよう共通するところはしてほしい。

1 2 3

教科（家庭科） 発行者（開隆堂）

内容について

確実に技能・知識を習得できる。生活に即している部分少く主体性は低めかも。

（朝食→いためるではなく、「いためる調理とは」から始まる。）

構成・分量について

5年生の分量が多い。情報量が多すぎることもある。

表記・表現について

「ソーイング」などの横文字が多い。写真が多く分かりやすい。（内容が入ってきずらいかも）

使用上の便宜について

見通しは立てやすい。大きめだが見やすい。

※原則、原文そのままに記載しています。

124

教科（保健） 発行者（東京書籍）

内容について

基礎的かつ時事的な知識及び技能がきちんと習得できると感じる

単元に「深める」と「まとめる」が設けられており、思考・判断・表現の力も伸びると感じる

構成・分量について

適切である。新型コロナウイルスについても記述してある

表記・表現について

発達段階に応じた表記、表現である。キーワード、大事なことがわかりやすい

使用上の便宜について

課題の提示→調べる→深める→まとめるとどの単元も構成されており、見通をもって学習にとりくむことができると感じる。

御意見・御感想

教科書を各小学校に回してほしいです。

125

教科（保健体育） 発行者（東書）

内容について

多様性を前面に推している感じがした。

構成・分量について

授業の流れにそったつくりでI T Oとして考えやすい。

表記・表現について

少し情報量が多く、読みにくさを感じたが、このうすさ（重さ）にするにはしょうがないとも思う。

使用上の便宜について

ワークシートとして使うことができる。

126

教科（保健） 発行者（東京書籍）

内容について

実験（3・4年）、実習（5・6年）があり、体験的に学習が行えるため、知識・技能の習得の一助となっている。

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

他社と大差なく、3・4年は、文字が大きく、読みやすいと感じた。+の資料等はすべてQRコードとなっている。

表記・表現について

イラスト・写真ともに多くあり、理解の手助けとなっている。

使用上の便宜について

QRコードでの解説や資料を見れるのがよい。書きこみが多くあり、ドリルのようにも内容を確認できると思った。

127

教科（新しい保健） 発行者（東京書籍）

内容について

予防接種の項目の所（P53）で新型コロナウイルスのワクチンは病原体の毒性を弱めたものでも感染力をなくしたりして作ったワクチンではないので、今までとはちがうと記載するか、もっとしっかりとした情報をのせた方がいいと思います。mRna ワクチンです。

御意見・御感想

『生活習慣病の予防』という項目がありますが、添加物のことについて全くふれておらず、そこはつけ加えて頂いた方がいいと思います。そうする事によって買い物をした際に裏のラベルをきちんと見て購入できるようになったりするからです。食べた物で身体は作られていると言う事をもっと意識させた方がいいと思います。←これはどの保健の教科書も共通でした。

文教社 保健5・6年（新型コロナウイルスに対する3つの基本）とありますが特に②のマスクの着用はまちがっているので記載しない方がいいと思います。

128

教科（保健） 発行者（大日本）

内容について

つかもう→話し合おう→考えよう→活かそう 流れがとても分かりやすい。

構成・分量について

書く量もあり、イラストや情報量も多いので、書く力が身につく。まとめやすい。板書も書きやすい。

表記・表現について

マークが様々あり、特に地球との関わり（なかなか児童が気づかない）もくわしく書いてある。SDGs 関係も書いてある。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

どの教科書も情報量が多く、学びに行かせるものが多かった。その中でも大日本のものは、つかもう～活かそうまでいねいに分かれていて見やすかった。

129

教科（保健） 発行者（大日本図書）

内容について

良い。目次もみやすい。

構成・分量について

文章も多すぎず簡潔にまとめている。児童が記入する欄も多くを求めず、少ない範囲の中からいくつか記入する欄がありいい。

表記・表現について

図・表 イラストを使用し視覚的にもわかりやすい。（ただキャラクターが多すぎるのではと感じる）

使用上の便宜について

特になし。

130

教科（保健） 発行者（光文）

御意見・御感想

- ・ 見つけようー考えようー生かそうの流れが分かりやすかったです。
- ・ 文章中のポイントとなる言葉が太字になっており、児童もわかりやすいと感じた。
- ・ 巻末の学習のまとめやSDGsの視点があるのもよいなあと感じた。

131

教科（保健） 発行者（光文書院）

内容について

思春期のからだの変化、赤ちゃんが産まれるまで、LGBTについて、煙草の有害について

御意見・御感想

フルカラーで分かりやすく説明されていて、どの発行元の教科書もみやすいと思いました。

132

教科（保健）

御意見・御感想

同じ単元でも内容が異なり、どこがよいと決められない。

※原則、原文そのままに記載しています。

133

教科（ほけん）

内容について

わかりやすい（写真・絵）

構成・分量について

文章は多すぎないほうがよい

使用上の便宜について

デジタルコンテンツが活用できるとよい

134

教科（英語） 発行者（東書）

内容について

- ・中学校でやっていた内容に近いものになっていた。
- ・中学校では、今まで通りの授業をやっているとのことなので中学校の内容に近いものではないと思った。

構成・分量について

良い

表記・表現について

字の大きさ、字体とてもよかった。

使用上の便宜について

使いやすそうに感じた。

135

教科（英語） 発行者（東京書籍）

御意見・御感想

読み書きに重点を置いたものだけでなく、聞いたことを発声してから書くという内容のものが多く良かった。書くたびに発声を促す表記があるとなお良い。フォニックスが十分にまとめられていて良かった。

136

教科（英語） 発行者（東京書籍）

内容について

自分のことを伝える活動が多いと思った。
→とてもよいと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

字、イラスト、写真、図表のバランスがいい。

御意見・御感想

今の時代の子どもたちに合っていると思いました。

137

教科（英語、6年） 発行者（KAIRYUDO 他）

内容について

思っていたよりもむずかしい。小学校での英語教育が始まる前の中学校1年の内容のよう。

使用上の便宜について

もう少しすい紙にして軽くした方が持ち運びには便利ではないでしょうか。見栄えは良いですが。

御意見・御感想

小学校の先生は必ずしも英語が得意なわけではない。キチンとして英語教育をしようとするなら、ALTではなく担任がかかわらなくても良い、専門の先生（指導者）が必要だと思います。

138

教科（英語） 発行者（教育出版）

内容について

小学生から英語にふれることができるようになり、どのような内容を学ぶのか知りたかったので伺いました。会話中心に学べるのがとても良いと思いました。

139

教科（Blue Sky） 発行者（啓林館）

内容について

冒頭から内容をききとり順番に番号を振るという内容で他の発行者と比べ難しめだと感じた。

御意見・御感想

小学校の英語学習についてはほとんど知らないが、子どもたちの苦手意識をできるだけへらすことが大事だと感じた。

※原則、原文そのままに記載しています。

140

教科（英語） 発行者（三省堂、光村、開隆堂）

内容について

三省堂はプレゼンテーションのときに参考になる話し方がありよい、光村はやりとりするときに大切なアクションや心がまえがありよい。開隆堂は、プレゼンとやりとりの両方が unit と教科書前方にあるが上記 2 社より簡単。

構成・分量について

3 社とも 4 技能バランスよく構成されている。

表記・表現について

開隆堂の最後の単元の有名人は、子どもたちになじみがない。

使用上の便宜について

ワードバンクに日本語が少しあるいは光村のみ。

御意見・御感想

どの会社のものも工夫されている。よいところをピックアップして使いたいくらいだ。

141

教科（英語）

内容について

開隆堂 word Book で数と日づけ明確で良い。

現在 未来 過去 文法的なものどのように理解させるか？

指導力の力量が必要になります。（指導書で確認してあるのですか？）

御意見・御感想

各出版社 word Book でコミュニケーションに必要なカテゴリーをまとめてあることは良いが、英語に不慣れな小学生にどのように学習させ使える英語にする。話せる英語にするのか、指導者の力がひつようになってきます。ぜひ読む書くだけでなく、使える英語にシフトアップさせる工夫をしてください。

142

教科（英語）

御意見・御感想

保護者です。特別支援が必要な子どもがいます。英語教科書 6 社のうち啓林館のフォントが見やすいと思いました。

※原則、原文そのままに記載しています。

1 4 3

教科（ 道徳 ） 発行者（東京書籍）

内容について

心情表現の仕方（心情円や心のメーターなど）のふろくも付いており、話し合い活動に有効だと感じた。（言語で表現できない児童への支援にもなるし、特別支援が必要なお子さんにも表現しやすい）

構成・分量について

絵と文章のバランスがよい。（ほどよいスペース読みやすい）

表記・表現について

絵や写真もやさしいタッチでなじみやすい。

使用上の便宜について

QR コードも付いていて、タブレットなどでも活用しやすい。

1 4 4

教科（ 道徳 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

人と人との関わりについての内容が多いと感じます。

表記・表現について

どう思うか、どう感じるか、児童たちに考えさせる形で良いと思いました。

御意見・御感想

都会での暮らしで、周りの人々や地域との関わりが薄い中、犯罪などに気をつけつつ関わっていくことへの大切さを学ぶ事ができると感じました。

1 4 5

教科（ 道徳 ） 発行者（ 東京書籍 ）

御意見・御感想

人とのかかわりでは友情を深める 良かった

学ぶのかな？ ボランチア 良かった

命 自然 大いなるもの かけがえのない命 東京大空襲の中で 良かった

よりよく生きる さばくを緑の農地に必要

146

教科（ 道徳 ） 発行者（ 東京書籍 ）

内容について

最初の見開きページのお話が良い。

構成・分量について

良い。

表記・表現について

6年生はもう大人と同じ表現で良いと思います。

御意見・御感想

道徳に時間を使ってもらいたいと思います。

147

教科（ 道徳 ） 発行者（ 教出 ）

内容について

新しい教材が入っていて、読みものとしてはおもしろいが、それをもとに考える道徳ができるのか疑問

構成・分量について

もじが他社に比べ多く、フォントも細かく読みにくい。

148

教科（ どうとく１ ） 発行者（ 光村図書 ）

内容について

「⑥みんなじょうず」（P 16）“おかあさんはりょうりじょうず おとうさんはしゅうりじょうず”は、今後のジェンダーフリー社会に向かう中では考えもの（ひと工夫が必要な書きぶり）。（←特に1年の教育として）

御意見・御感想

「⑧かぼちゃのつる」（P 20）の話は何社もの教科書に載っているが、“勧善懲悪”、“因果応報”的寓話で、分かり易いが効果は限定的。自分勝手や他者への迷惑行為がなぜいけないのか、この話だけでは説得的ではない

「⑫二わのことり」の寓話も何社も載せているがこの話にも幾つかの“違和感”がある（・うぐいすは何故この日に音楽練習を強行したのか（調整しなかったのか）（やまがらには声を掛けなかったのか）・みそさぎは他の鳥が「こっちに來て良かった」と言うことに同調せずひとり黙って抜け出したが、それを正解の様に扱うことで可いのか・・・など）

※原則、原文そのままに記載しています。

149

教科（ 道徳 小4 ） 発行者（ 光村図書 ）

構成・分量について

「⑩つまらなかった」（P 8 2）は、P 8 6の「インターネット上のやり取り」とともに“現代”に生きる我々にとって秀逸なテーマ。

「⑳泣いた赤おに」正解を示唆しない問題提起型の設定は良いと思うがそもそも「鬼対人間」という背景図式が今日的感覚からはいただけない。

「㉑わたしの大切なもの」（P 1 5 8）で、やっとリアルな世界への視点が出てくる。遅くないか。

150

教科（ 道徳 5年 ） 発行者（ 光村図書 ）

内容について

・「⑩命の詩－電池が切れるまで」は、もっと下の学年（1年生からでも）に載せて良いのではないか

・「㉑だれもが～」でやっと“差別”問題が出てくる。偏見、差別 いわれなきヘイトなどの扱いが少なすぎないか

・巻末が「㉑アンパンマンがくれたもの」で歌詞の意義を改めて考察させるものだが、それにしても題材が低学年向き。高学年になると「きれいごとでは済まない現実」に直面する。それへの対応を教えるべきではないか。

表記・表現について

P 5 6、3行目の「目線」に違和感あり。TVやスマホの普及で一般名詞化しつつあると言え、目線は（元々一部の）業界用語。小5の教科書に用いる語にはなじまない。（吉藤氏の作品引用としても）。（而も、ここは「視線」で全く意味を損わない）

・P 1 2 5 16行目「(テレビ局) とか」のとか。“たりとか言葉”は教科書に合わない（使うとしたら正しい使い方で）

御意見・御感想

幾つかの社は教科名道徳にサブネームを付けている

・光村「きみが／いちばん／ひかるとき」 ※光村は隔年の巻頭を飾る詩も秀逸

・日文教「生きる力」

・教育出版「はばたこう明日へ」

どれも良いと思いますが・・・

※原則、原文そのままに記載しています。

151

教科（ 道徳6年 ） 発行者（ 光村図書 ）

御意見・御感想

⑬「世界人権宣言から学ぼう」→「世界人権宣言」の存在を知り、学ぶこと自体が自然と社会と自分のつながりを考える力を与えるので良い教材だと思う。それに対し、例えば⑩曲げわっぱから伝わるもの→P178<つなげよう>で君が思う日本のよさは、どんなものかなの問いには飛躍がある。雪菜は曲げわっぱを通して見える職人の思いや自然への見識などに感ずる所があったと思うが、どこで「日本のよさ」とつなげるのか理解できない。よその国の技術であっても雪菜は感動したと思うから。

152

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日文 ）

内容について

板橋ビジョンに準じている内容もありよい。（世界に目を向けている。）

構成・分量について

ちょうどよい

表記・表現について

写真がわりと多いので身近に感じやすい。

使用上の便宜について

ノートもセットでよい。

153

教科（ 道徳（いきるちから）1年 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

内容について

“狙い”となる内容が、バランス良く配分されていると思う。

表記・表現について

P141の文章表現「あしたのよういを入れました。」は学校では普通の表現ですか？（「よういを入れる」に違和感アリ）

◎動物のキャラクターを使うこと自体には大きな問題はない（寧ろ親しみ易いか？）としても、いつも“悪い役”を狼、キツネ、タヌキ…“良い子”をウサギ、猫、子犬…という様にステレオ・タイプ化するのはいかながなものか（見た目の可愛さと善悪は別物）

命を教えるのに、動物だけでなく植物の芽生えを使っただてんは良かった。

※原則、原文そのままに記載しています。

使用上の便宜について

「ノート」があっても QR コードが必要か？（←動画にリンクしているものを見て、「必要なものもある」と認識し直したが…）

154

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

御意見・御感想

道徳ノートがあることでとても不便さを感じる。発問などを書かないなどの配慮がある助かります。道徳ノートのよさは、児童が自由に使える、書ける、自分の意見をノートに表出できる、そして、教員の時間短縮等の利点があると考えます。決められた枠やたて書き横書きも決められ、心を表出するのに不自由さにつながる、また、上の段の発問があることによってワークシートを印刷して貼るといった手間がかかり結局無駄な時間がかかってしまう（働き方改革の逆行）板橋区で使用する教科書について、教職員・児童のことを考慮して頂き、ご検討いただけたら幸いに思います。宜しくお願い致します。

※区で購入していることもあり、絶対に使用しないといけないという道徳ノートのしほりも大変やりにくいです。

155

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日文 ）

内容について

4年、P 84 「花さき山」

こうした絵本に子どもが自然に出会えたらと願います。ある目的にそった教材として出会ってしまう子どもの不幸を悲しく思います。道徳教科書は罪深いと思います。

構成・分量について

「どうとくノート」は不要です。子どもは求められている答えを書き、偽善を考えます。

表記・表現について

タイトルが作作的で、最初に「徳目」が示され、子どもがそれにそって対応していく授業で道徳が心に育つとはどうしても思えません。

御意見・御感想

道徳を教科にしたり、教科書で教えることの無理をつくづく感じました。

日本の社会や、日本のリーダーが子どもの心に徳を育てる教材であってほしいと願います。

156

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日文 ）

内容について

前回とお話が入れ替りよかった

※原則、原文そのままに記載しています。

表記・表現について

どの社もさし絵を工夫された。

御意見・御感想

特になし

157

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日本文教 ）

内容について

時代に合わせて、内容が精選されていた。

構成・分量について

適切

表記・表現について

ノートについて2年生以降は全てけい線になっており、よかった。

使用上の便宜について

ノートがついていてよい

158

教科（ 道徳 ） 発行者（ 日本文教出版 ）

内容について

「人との関わり」を年3回組み合せ「いじめ防止」を設定している。

使用上の便宜について

教科書に学習記録を書かせるより、ノートに記載して家庭に持ち帰らせる方が親としてありがたい。

ノートに教科書の目次があり、どの教材を学習したのかわかりやすい。

159

教科（ 道徳 ） 発行者（ 光文 ）

内容について

（1年にんじん畑でP84）他

動物の過度の偽人化は子どもの心を煩います。「かぼちゃのつる」（P34）も同様に自然の摂理を人間の「道徳」で断罪すべきではなく科学的であってほしい。

「アスリートの言葉」（6年P162）などスポーツ選手を過度に美化するページも彼らが何か問題を起したとき、逆効果となります。スポーツは道徳ではありません。

※原則、原文そのままに記載しています。

教科（ 道徳 ） 発行者（ 光文書院 ）

内容について

（全ての会社様の教科書を閲覧させて頂いた中で）『自分軸』を育てるのにとってもいい考え方と表記方法。そして、心理学にも通ずる要素が有りアウトプットをする癖を幼いときからつけることが出来るものが多かった用に思いました。

構成・分量について

先程と被りますが構成がとても素晴らしいです。分量もストレスを感じないほどよいものだったように思います。

表記・表現について

自己を確立していくにあたり人として大切なことを学ぶことができるだろうなと感じました。

使用上の便宜について

『自分軸』を確立できる。（今でいう、『自己肯定感』等）
情報にブレづらい心を育てることができる。

御意見・御感想

この度は素敵な会場を設けて下さり、心から感謝申し上げます。このような機会をもっと沢山の方に知って頂けたらいいなと心から思います。

これからの「地球の子どもたち」「子供だった大人たち」双方が笑顔で愛溢れる世界で生きられるよう自分も精進していこうと思います。

とても素敵な気持ちを頂きましたと共に、勉強になりました。有難う御座いました。

教科（ 道徳 ） 発行者（ 学研 ）

内容について

いろいろなジャンルのお話が載っていて、楽しく学べそうだと思います。6年33届け！
ぼくらの願いは区内のお話で驚きました。これからの時代、与えられるばかりでなく、自分たちの手で未来をつくろうとする姿を同じ区内の子どもたちに見てもらいたいです。

構成・分量について

問題ないと思います。

表記・表現について

絵や写真がとてもきれいで、よく考えられて配置されたことが伝わってきます。子どもたちの興味をひきそうです。男の子＝青（寒色）、女の子＝ピンク（暖色）、家にいるのはお母さん、働くのはお父さん、といった性別についての配慮が随所に見られて安心しました。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

昔に比べてほとんどの教科書が大きくカラフルですね。うらやましいです。道徳は1社以外同じ大きさで、迫力ある写真や見応えあるイラストを載せるのには小さくないほうがいいように感じました。ノートは1社のみについていましたが、普通の市販のノートでも十分な内容に見られました。紛失などノートの管理に手間がかかってしまうのでは？と心配しました。

162

教科（道徳） 発行者（GAKKEN）

内容について

各単元が“問題点、投げかけ型”で構成されている。そのこと自体は可いと思うが、例えば項目20「ノンノンだいじょうぶ」のエピソードは少々意味不明。薬をのんで寝たら翌朝、周りが明るくなっていた。全てクスリで解決できるか？

表記・表現について

動物に擬える手法は常套だが「狐は狡知に長けている」「ウサギは可愛くて善」という立て付け（「22など」）はステレオタイプに過ぎるか。

使用上の便宜について

「こころのパスポート」は、他教科の「練習問題（応用問題？）」に当たるのか・・・とすると「こころのパスポート」という名前が相応しいのか少々疑問

御意見・御感想

・「勸善懲悪」「因果応報」の道徳律、1年生用としては否定しないが、稍、それに走り過ぎるエピソードが多いように感じる。（2年生以上の内容に期待）

・動物（例えばハムスター「31」）は、可愛い、生きていることは素晴らしい・・・ということを知ること大切だが、同時に（だからこそ）飼うことの大変さ（命を育むことは時に面倒で汚いこともあること）も教えるべきではないだろうか（安易にペットブームによって処分される命もある）

・植物の命のことにも触れたい（2年生以降に期待）

163

教科（みんなのどうとく） 発行者（学研）

内容について

各ページ、お話だけでなくお話を読んで具体的にどうだったか皆で考えたり自分に問いかけたようになっていた。ルールやマナー等学べるようになっていていると思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

子供のおそらく短いであろう集中力に合わせた短い物語や話で構成されていて、更に話を読むだけでなく最後に考えを話し合う構成になっていて受け身だけの授業にならずに良いと思いました。

表記・表現について

子供の興味をそそるような絵や写真が並んでおり、学ぶ意欲をかりたてると思います。

御意見・御感想

コロナが流行してから、子供たちが集まって、一緒に何かをする機会やマスクをつけた生活になれて、表情が見えずにノンバーバルなコミュニケーションも減ってきた中で、お友達や人との接し方を学ぶ上で、道徳の授業はより大切になってきたと思います。フェイストゥーフェイスでとるコミュニケーションだけでなくオンラインでの付き合いもふえてきた現代で、人のことを思いやれる子供たちに育ってほしいので、道徳の授業を通して学んでほしいです。

164

教科（道徳） 発行者（全社）

わざとらしいものが減っては来ているようだが、まだまだ多い社がある。偉人伝的読み物が多くなるのはやむを得ないと思うが、その背景や裏面までを含んだ「考えさせられる」内容のものが少ない。

165

教科（道徳） 発行者（全社）

御意見・御感想

人間の心はまず絶対的に自由であることが大前提とした上で人を教育してほしい。道徳教科の膨大な「あるべき～」が自由な子どもを枠にはめこんでいる。大人は子ども謙虚であってほしい。与えようとする枠が有害かも。成長への阻害になっているかもという疑いをもってほしい。自分がこどもだったら、心のことは自由にさせて、自分で考えたいと反撥するだろうと、道徳の教科書を読んだ感想です。

166

教科（道徳） 発行者（日本文教出版 光村図書 Gakken）

内容について

どの会社も、道徳ではいじめ防止をつよく意識しているのだと感じます。日本文教と光村では、目次などにはっきり「いじめをゆるさない」と明記していて、大人の側からみると、評価されるかもしれませんが、子供の立場からみると、あからさますぎて、嫌な感じがするのではないかと。とくにいじめられている子にとってはつらいのではないかと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

構成・分量について

ページ数は日本文教と光村が中学年で 180 ページあり、充実しているかにも思えますが、道徳の教科はただ読むだけの学習でないのだと聞いているので、Gakken のページ数（中学年で 160 項ぐらい）が丁度良いのではと思います。日本文教の道徳ノート、他社にはない工夫？でも教科書にも記入欄あるのでこんなに書けないのではないかと思います。

表記・表現について

挿し絵など、各社多様性への配慮がされていて、ランドセル・服装の色などもステレオタイプにならないように気をつけているんだなと思いました。個人的には Gakken の表紙と挿し絵がかわいくて、子供たちにも親しみやすいものではないかと思います。

使用上の便宜について

付ろくで思考ツール（QR をよみとってみられる）があるのは面白いと思います。Gakken, 光村にあります。

御意見・御感想

光村の巻末の学びの記録、シールをはって、子供たちのポートフォリオにするのかもしれませんが、何をどう考えたのか、シールを貼るだけでは後から見返したときにさっぱりわからないので、教師の立場としては、Gakken の巻末くらい具体的に書かせた方が児童の心の成長の見取りができていいのではないかと思います。Gakken は巻頭にも今の自分について考えて書く欄があるので巻頭（新学期）と巻末（学年の終わり）で自分の考えの変化が、児童自身で振り返ることができて、よい工夫だと感じました。日文の 3 年「これ、全部東京産」という教材、東京以外の地域では何だか使いづらいんじゃないかと思います。

167

教科（道徳） 発行者（東書、日本文教、光文、光村、教育）

内容について

本校で使用している日本文教出版 ノートもあり活用できるほとんどの教科書が時代に合ったものを取り入れ評価している。

構成・分量について

文教、光文は登場人物が始めに紹介があり、あらすじが把握しやすい。もくじに全社、価値について表記され見やすい。

表記・表現について

日本文教出版 実写の表紙はとてもよい。親近感がわく。光村。

使用上の便宜について

日本文教出版 ノートは発問がなく自由度がありよい。

※原則、原文そのままに記載しています。

御意見・御感想

光村、文教は巻末にSDGsの表記あり。時代に合った教材はよい。
他にジェンダーフリーについても取り上げていければよい。

168

教科（道徳）

「光村 5年」

ハンセン病をとりあげ、「だれもが幸せになれる社会を」という項目は、とても良いと思う。子どもの権利条約について、触れられているのは良いことと思いますが、もっとページをさいてもらいたいところだと思います。

「東京書籍 4年」

お母さんのせいきゅう書は、家事労働を女性が担うという前提で書かれている。子どもたちに性による役割分業について固定した意識をうえつけてしまう。多様が家族があることから問題だと思う。このような教科書であってほしくない。

169

教科（道徳）

教育出版①全学年、全単元の最後に3項目の自己評価欄がある。○、×とかを書き込むのだと思うが、先生が評価の材料の1つにすることがわかっているだけに、子どもは悪い評価は記入しないだろう。たてまえと本音を使い分ける子どもを育てることになってしまう。適切ではない。②6年巻末に「世界人権宣言」を入れているのは評価したい。道徳教育で不可欠のものは人権教育だから。

日本文教出版①教科書とノートの2冊セットは扱いづらい。②毎回自己評価をする。項目はよいことばかりである。該当するものがなくてもどれかに色を塗らねばならないから、本音でなくても塗ってしまう。本音を出さず、たてまえだけで生きることを勧めているようなものだ。不適切な項目だ。③「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」この2つの問いで全学年統一している。「考えてみよう」は教科「道徳」として、適切な問いだ。「見つめよう、生かそう」は無理をして答えねばならない子どももいるだろう。道徳は自然体の中で自己のものとしていかねばならないのに、たてまえで答えさせてしまう。どの題材でもこの問いに答えさせるのは無理だ。非道徳的な子どもを育ててしまうのではないか。

170

教科（道徳）

徳目にあわせた、いかにもそれらしい話（作り話）を多く載せている社の編集が気になる。こんなことで本当に道徳心が養えるものだろうか。

171

教科（道徳）

内容について

※原則、原文そのままに記載しています。

どの出版社も似たような題材、短文をとりあげて、決まりきった答えをひき出そうとしていますが、子どもの自由な発想、多彩な意見を教室で言い合える授業が豊かな人間を作ると思う。

構成・分量について

項目が多くて、これで週1回の道徳の時間には、消化しきれないのではないかと？そもそも1時間に1話という設定にも疑問を感じる。

表記・表現について

色は美しいし、文章には配慮してあると思うが、どちらかというと、そちらに重点が置かれていて、内容は薄いものが多いように思う。

使用上の便宜について

現場の先生達が、これをどのように扱うかによって、大ちがいだと思う。先生達の視野、教養を深めるために、ゆとりある研修の時間を確保してほしい。

御意見・御感想

先生のなり手が減っているのはそれだけ職場環境が魅力に乏しいことだと思う。採用試験を前倒しにするようなことでは解決しない。

先生達の勤務時間を減らし持ち時間を減らし、給与を上げて、1人1人の個性を尊重して、教養ある人間を教員に行かなければ、日本の未来はない。教育の効果は20～30年後にわかる。すばらしい先進国に学んで、日本の教育制度を改善してほしい。

172

教科（道徳）

「東京書籍」各学年に「考えるためのツール」が、4年以上には更に「心情円」が付いていて、毎日、自分の行為行動を自己評価するようになっている。こういうものを毎日やられると、子どもは委縮してしまうか、表向きの自分と本当の自分を持つようになる恐れがある。有害無実だ。

「光文書院」各学年巻末に「またびの足あと」と称する自己評価表が付けてあり、道徳の授業のたびに自己評価をする。これは、「たてまえの生き方」を1年生から身につけさせることになる。非道徳的人間の育成になるだけだ。

Gakken「考えよう」と題して、課題を2つに絞っているのがよい。子どもは自分の発想で考えるだろう。自分で考え、行動するのは道徳の基本だ。

光村図書 巻末に自己評価表がついている。「光文書院」同様、毎回毎回自己評価しなければならないのでは、子どもは道徳が嫌いになる。また、「たてまえ」と「本音」を使い分けるのがあたり前になる。果たして、道徳的か？

173**教科（ 道徳 ）****内容について**

- ・東京書籍が6年で中村哲医師を取り上げているのはよいと思った。

構成・分量について

- ・光文書院のは、特に1年生の文章が多すぎると思う。
- ・日本文教出版には、道徳ノートが1年34、2～6年35時間分あると、児童も先生方も負担ではないか。重軽あってよいと思うので、ノートはいらないのではないかと思う。

表記・表現について

- ・光村図書に1～4年にシールがあるが、なくてよいのでは？

使用上の便宜について

- ・国語の読解と同じように、長文すぎると、読み取りになってしまわないか、と思う。

御意見・御感想

- ・児童、先生方が使い易いものにしてほしい。
- ・児童に強制する（道徳観の植えつけ）ものでないように願う。

174**教科（ 道徳 ）**

いくつか読みましたが、なかなか読みきれません。しかし、“道徳”が評価の対象となっていることにはやはり大きな違和感があります。心の問題などを評価されては大人でもたまりません。

お母さんのせいきゅう書（東京書籍）

母の（女性）の無償労働を“よし”とする表現ではないでしょうか？

◎全体として、どの出版社も男女の役割分担 無為時期の意識を育ててしまうことにもっともっと留意してください。それ以外も押しつけが気になります。

もう一つの例 わたしはひろがる（光文書院）

みんなお母さん仕事さ？？？

わたしは大きくなり⇄女の子 お母さんが入ってきた のように

175**教科（ 道徳 ）****内容について**

上手く言えないが・・・「人としてどう正しいか」といった内容にどうしてもかたよってる気がする。自己受容(ありのままの自分、苦手な自分、ダメな自分を見る)という内容が弱い・・・。そこが認められないから子どもは苦しむし、いじめも起こるのでは・・・？

※原則、原文そのままに記載しています。

176**教科（全て） 発行者（全て）**

かつて板橋区内の公立小学校で再雇用の時期も含めると40年間、教員をしていました。どんな時、子ども達が、意欲的に学んだり学習を喜んだりしたかを思い出しながら、新しい教科書を見ての感想を書きます。

教科書は子どもにとって、学びを導き、次々と新しい学習意欲や好奇心をかき立ててくれたり、新しい知識を与えてくれるなくてはならない物であったように思います。

教科書は、いつでも、子ども達の発達課題や知的な発育状況の分析などに基づいたそれぞれの学年にふさわしい内容であることが求められていると思います。それらの観点から新しい教科書を見ると「親切過ぎる」「何から何まで一考え方から、話し方から、結論まで書き過ぎ」その上、QRコードがいたるところにあり、それをたどれば「正解」まで分かってしまう仕掛けが…。これでは親切過ぎるだけでなく、子どもたちの学習意欲や知的な好奇心がどうなっていくのか心配にさえなってきます。

このような教科書の中から、より子ども達の力を伸ばすのに役立つよりよい教科書を選ぶのはなかなか大変な作業です。最近の教科書選定、採択の度にかつての選定方法を思い出し、どうしてそのような方法にしないのか不思議でなりません。

かつては、日々子どもに接し、子ども達の学習に取り組んでいる教員の教科書に対する意見や希望を集約し、多くの教員が「この教科書で授業をしたい」と選んだ教科書を採択教科書の候補にしていく方式だったと思います。教員であった私達は、校内研修の一つとして教科毎の分科会で検討を重ね、全体会で更に調査し、よりいい教科書を選び出していました。

177**教科（国語、生活、道徳）発行者（東京書籍 光村図書 教育出版 日本文教出版 学校図書）
内容について**

国 東京書籍、内容は力がつきそうでいいが、スキルのなものが先立ちすぎているように感じます。もっと根本的なところで学びの必然性の高まる光村がいいです。

生 幼稚園の経験をいかして上巻は特に絵本的要素がある社がいいです。

構成・分量について

国 教育出版 6年間に冊のボリュームが多すぎる。もっと精選したものがいいです。

道 別冊ノートいらないです。プリントを貼る台紙にしかありません。ふくれあがっています。あまり使わない先生もいて、その学年の時は邪魔になっています。今回はとじこみではない別冊のようなのですが、そもそも先生の使用実態と合っていないと思います。

御意見・御感想

①どの教材も紙面だけでなく、QRのリンク先など大充実してきて親としては安心感があります。一方で消化不良が気になります。子どもは年齢に応じて検索する力（探し出す力）のちがうので、ボリュームよりも、このタイミングでこの力をつけさせたいという意味での質の高い教科書を選んでいただきたいです。

※原則、原文そのままに記載しています。

②思考力、判断力をつけさせるにしても、情緒的なものは力の定着のために必要なので、小学生の目線で楽しい、やってみたいと思えるものを採択してほしいです。

③学校図書という社だけプラスチックケース入りですが、エコではないイメージです。

178

教科（社会／道徳） 発行者（日本文教出版／Gakken）

御意見・御感想

板橋区の資料が掲載されている教科書があると聞いて、内容を知りたくて見に来ました。日本文教出版の社会では、フードロス対策の取り組みという、これからの社会で大事なことを板橋の事例が載っていました。Gakken の道徳では、区内の小学生の遊び場の確保のための取り組みが、社会のしくみを変える取り組みの事例として載っていました。子どもたちにとって身近な題材で、とても大事なことを学ぶことができると思います。このような地域の事例が取り上げられた教科書が選ばれると、子どもたちの学びにいい影響があるように思います。

179

教科（算数、道徳） 発行者（学校図書、日本文教出版）

内容について

- ・情報量が多い。分冊はやめてほしい。
- ・道徳はどの教材会社も価値観のおしつけがひどい。区独自のものが欲しい。

構成・分量について

同上

表記・表現について

各社道徳の偏向思想が気持ちわるい。

使用上の便宜について

品質が担保されているなら、一番軽いのでよいのでは？

御意見・御感想

- ・タブレットがあるのにノートやワークはあっても負担になる。子どもになくされて、買い直すのも手間なので、教科書は一冊で完結してほしい。
- ・せっかく色んな会社があるのだから、一教科一社で多様な学びが与えられるとよいと思った。あと、自分は国語は光村、英語は三省堂の時代だったので、そうじゃないのも面白いと思った。

180

教科（算数・国語・理科・社会）

内容について

※原則、原文そのままに記載しています。

カラーで絵が多くわかりやすい

使用上の便宜について

算数（大日本図書）、理科（東京書籍）、社会（教育出版）のすべて、国語（東京書籍）の5、6年は1冊が分厚く持ち運びが大変なので、上下巻の2冊ずつに分けた方が子供の負担も減りまた使いやすいと思います。

181

教科（社会・算数・国語）

表記・表現について

見やすい工夫が多くて良かった。

御意見・御感想

分かりやすかった。

182

教科（算数・英語・道徳）

御意見・御感想

何故、教科書以外の冊子があるのですか？机にP C、教科書を載せたらいっぱいになるのでは？何故、教科書本体に入れない。特に道徳は市販のノートで充分だと思う。

183

教科（社会／地図）

使用上の便宜について

社会：東京書籍のは6年が2冊に分かれていて持ち運びにいい

地図：東京書籍のは、本体を取り出しにくい

184

本日、短期間ですが教科書をみさせていただきました。

①最初に思ったのは、とにかく重いということでした。実は現在2年生で区内の小学校に2年の孫がお世話になっています。少々太っている子で26kgぐらいの体重がありますが、下校時のランドセルの重さを測ってみると5kgもありました。更に体育着や傘、水筒をもって帰ってきました。ランドセルの中には国語の教科とプリント類など、毎日5kgのお米袋を背負って低学年の子が通学するのは大変です。

又、今回の教科書は子どもにとっても先生方にとっても内容が多すぎ、じっくり学び合ったり、先生方が工夫して授業することもむずかしいと思います。もっと量を減らし、お互いに学びあえるゆとりある教科書にしてほしいと思います。

②ひとりひとりの子どもたちに考える力をのばそうとし、算数科などでは、あえて「考える

※原則、原文そのままに記載しています。

力をのばそう」「すじ道をたてて考えるよう」、又国語の文学教材などでもしているのですが、学習課題がだされても、すぐに例示がだされ、子どもたちが子どもらしい思考で考えていくことができない形になっているように思います。

子どもの学習集団として学び合えるような工夫をしてほしいと思います。

③英語について

とにかくむずかしいと思います。5年生、6年生でこんな型で学習をすすめていたら、英語嫌いになり格差がますますできてしまうと思います。とても心配です。

グローバル社会に生きていく子どもたちに、もっと自信をもって学ばせてあげてほしいと思いました。子どもたちにとってよりよい採択をお願いします。

又、現場の先生方のお声を大事に聞いてください。よろしくお願いします。

185

内容について

国語に関しては、教育出版の内容が他の教科書より難しそうだった。

構成・分量について

特に問題ないと思います。

表記・表現について

大きい字で全体的に良いと思います。

使用上の便宜について

どの教科もカラフルで見やすかったです。

御意見・御感想

来年、子が小学生になるので興味があり、伺いました。

186

内容について

例年に発行しているものと同じく分かりやすい。

構成・分量について

充分ではあるが、中学受験にはものたりない。

表記・表現について

分かりやすい。

※原則、原文そのままに記載しています。

187

内容について

①国語の教科書を拝見し、東京書籍では5年・6年ともにインターネットとの上手な付き合い方を考えさせられるような説明文が載っていることがよいと思いました。小学生のうちから日常的にスマホやタブレットを使用する中で大人の知らないところでおかしな情報に触れていたりトラブルに巻き込まれたりする危険が常にありますし、また何かを読んだり書いたりすることも今やインターネットと切り離せるものではなくなってきているので、あえて国語の教科書に載っているということも大事ななことかと思います。

②図画工作の教科書で、日本文教出版では5、6上の方の後ろのほうで著作権について触れているのがよかったと思います。また、どの学年にも裏表紙に「作品について」というコメントがあり、作品には作った人の思いが込められている、だから大切に扱わなければいけないというスタンスが見えます。子どもたちにも自分の作品も友達作品も大切に思う気持ちを持ってほしいです。（これもインターネットには沢山の作品があふれていて、中には違法でアップされたものもあり、意識しづらい部分になってきているので、学校でタブレットを使う際にも注意してほしいと思います。）

188

使用上の便宜について

各校のレベルに合った教科書の方がよい（小中とも、場所によって児童生徒の発達レベルが違う）選択性にはできないのか？

御意見・御感想

すいていてゆっくり見ることができました。ありがとうございました。

189

御意見・御感想

音楽の教科書を中心に見せていただきました。コロナ禍でここ2－3年十分な学習ができず、その中で先生方がいろいろ工夫され、子供が音楽する楽しさを味わうようにして下さっていたと思います。令和6年度から使用される教科書では、そうした経験を生かしてQRコードをふんだん活用したり、カットそのもので協働的な学びを引き出したりするものがあり、今後の学校での活用が楽しみになりました。

190

御意見・御感想

保護者です（特別支援が必要な子）

採択する際、デジタル教科書が優れているかどうかとも考慮していただければと思います。

※原則、原文そのままに記載しています。

191

御意見・御感想

子供自身はどれも変わらないようなので、特にはないです。

192

御意見・御感想

家庭5・6 東京書籍 くわしくかかれて分かりやすい

Gakken のみんなのほけん 明るい色合いとていねいな解説見やすい

又、見学させてください 時間たりずで

193

御意見・御感想

特にありません

194

御意見・御感想

育児中のため子どもが小学校に入学した際にどのようなことを学ぶのか気になり伺いました。子どもの負担を減らすため上下別冊になっている点や、小学校からの英語教育について参考になりました。

195

御意見・御感想

板橋区内小学校の教員です。前回の教科書採択のおり、「国語は光村がいい」という声が多く聞こえてきました。にもかかわらず、東京書籍になっており、驚きました。どのような経緯、理由で、採択したのか、またどんな意見が寄せられたのか、決定までのプロセスをオープンにしてほしいと思います。上で勝手に決めるなら、各校の意見を集めるのは時間の無駄だと思います。

196

御意見・御感想

現在の社会は、IT が普及し、パソコンで検索すれば殆どのことを調べることができます。そして、ボーダレスワールドという言葉が示す通り国境が無くなっていき更にその状況が推進されていくものと推量します。

そういう状況を踏まえ、英語であれば日常会話に力点を置く必要があると考えます。個人的な意見ですが、国語力を補強する上でも小説なりの一冊の本を読了することが大事だと思います。それを切っ掛けに本を読む習慣を身に付けることが大切です。

※原則、原文そのままに記載しています。